



第57号

平成7年10月1日
発行所
茨城県東茨城郡
内原町鯉淵5965
鯉淵学園同窓会
☎319-03 TEL.029-259-2811
振替口座 字都宮3-1632番
印刷所
印刷
刷葉 双葉

学園創立五十周年記念

第二十二回同窓会大会案内

十一月三日開催

会場 鯉淵学園・第五番教室
受付 十三時～
大会 十三時三十分～
常任委員会 十六時三十分～
懇親会 十七時～

【議題】

- 一 報告事項
 - (1) 平成六・七年度事業報告
 - (2) 平成六・七年度決算報告
 - (3) 平成六・七年度監査報告
 - (4) 創立五十周年記念募金中間報告
 - (5) その他
- 二 協議事項
 - (1) 平成六・七年度事業並びに決算報告承認について
 - (2) 平成八・九年度事業計画並びに予算について
 - (3) 平成八・九年度役員選出

(4) その他

なお、大会は、会則により役員及び各都道府県支部選出の代議員によって構成されますが、未だ組織が十分整っておらず、従来どおり、代議員を含めた出席者全員を構成員とすることで、大会をお認め戴きたいと思えます。

また、今大会は、学園創立五十周年を記念して、盛大に盛り上げたいと思えます。この際、記念行事への出席、参観とともに、会員多数の参加をお待ちしております。同期、近隣同志を誘いあってお出かけください。

◆大会運営についてお願い

一 大会に出席される会員は、必ず、「はがき」に、住所、氏名、卒期を明記し、十月二十日（金）必着で、ご一報ください。
二 大会と前後して行われる記念行事の日程は、別記「案内」のとおりで

すが、これらへの参加、出席についても、一緒に連絡してください。

三 宿泊施設の案内

同窓会館の利用は、困難と思われるので、次の施設に受入れを依頼しました。各自申し込んでください。

なお、湯泉荘及びホテル「歌舞伎」では、当日、同期生会が予約されており、受入れ人数（相部屋）、送迎車の運行等に、相当の制限が予想されます。

- (1) 湯泉荘
☎二九一二五九一〇二〇
内原町三湯一〇五
- (2) ビジネスホテル「ふじぬま」
☎二九九一七七一九二一一
友部町八雲二一一一
六、〇〇〇円（食事別）
- (3) ホテル「歌舞伎」
☎二九九一四五一六六八八
岩間町愛宕山通り
一〇、〇〇〇円（朝食付）

鯉淵学園創立五十周年記念行事のご案内

一九九五年十一月、鯉淵学園は創立五十年を迎えます。これを記念して以下のような記念行事が行われます。ひとりでも多くのご参加を心待ちに致しております。

十一月三日（金）

記念講演会（体育館）

十時二十分～十二時

演題 「若者の眼が輝く農業」
農村づくり」

講師 坂本多旦（かずあき）氏
（山口県佃船方総合農場
代表取締役）

十一月四日（土）

二十一歳と十六歳の農業青年のシクラメン協業経営から出発した佃船方総合農場と関連グループは現在、畜産から外食・イベント業まで手がける年商七億円、従業員六十二名の経営に成長

しました。このグループのリーダー坂本多旦氏に五十年の節目を迎えた鯉淵学園で日本農業についての氏のロマンと農業に関わって生きようとする若者たちへの期待を語っていただきます。

記念第二十二回同窓会大会

十三時～十七時
（五番教室）

十一月四日（土）

記念式典（体育館）

十一時～十二時

記念式典に先立ち十時から「スライド・鯉淵学園の五十年未来への飛翔」を上映します。（上映時間約二十分）

学園創立50周年記念事業募金集計報告

本年五月から八月までの四ヶ月間の成績は、別記「応募者名簿」のとおりで、五三三名（うち九七名は追加）の会員から、八百四拾壹万壹千円の応募が寄せられ、併せて、一、四七八名（実人員）、貳千七百四拾壹万参千円となり、漸く、五〇%の峠を越えることができました。支部並びに卒期別内訳は、別表のとおりであります。

募金活動の原動力として注目される大型支部の情勢は、以前として苦戦続行中ではありますが、茨城県支部の七〇%台突入で、

「必ず一口・もう一口」の強力推進に期待

愛媛県支部と②③⑩⑫⑬期が目標突破
峠越えの募金活動・これからが正念場

本年五月から八月までの四ヶ月間の成績は、別記「応募者名簿」のとおりで、五三三名（うち九七名は追加）の会員から、八百四拾壹万壹千円の応募が寄せられ、併せて、一、四七八名（実人員）、貳千七百四拾壹万参千円となり、漸く、五〇%の峠を越えることができました。

これからの進展に期待がかかります。また、奈良県支部に続いて愛媛県支部の目標突破も、今後の活動に好影響を与えることは確実で、最後、大躍進の起爆剤となりましょう。

卒期別では、前回突破組に続いて、二期、三期、十期、十二期及び十三期の五組で目標を突破し、二十期までの完全突破も、間近に迫った感じです。

次の報告は、第二十二回大会となります。を、そして、「必ず一口・もう一口」の結果をお願ひ申し上げます。

記念レセプション（グラウンド）
十二時三十分～十四時

記念式典は、昭和二十年の「高等農事講習所」としての創立以来の鯉淵学園の活気と波乱に満ちた歩みを振り返り、新たな出発を誓い会う催しとなります。記念レセプションはグラウンドで行

われ、和気あいあいとした雰囲気の中、旧交が温められ、学園を接点とした交流の輪がさらに広がることでしょう。

十一月五日（日）終日

学園祭（全国物産展・農場生産物販売ほか）

鯉淵学園 五十枚の翼を広げ

未来にむかって はばたこう

（五十周年記念標語）
農業・生活専門学校 鯉淵学園



遺族応募に感涙 対応は一つ

墓前に事業完成報告

数年前に逝き去られた新潟⑦川上義雄、青森⑧葛原昭一及び岩手③小田中博の三氏並びに、「近畿のつどい」開催に奔走しながら、八月四日急死されました京都③杉原精一氏のご遺族から、故人の意を継いだ尊い募金が寄せられ、目頭の潤む感動と、記念事業の完遂を供養として、故人の冥福を祈る使命感とが交錯して、身が引き締まる思いです。

ご遺族の皆様には、心からお悔やみ申し上げますとともに、本会は、鯉淵を志向して若者が集う限り、これを支援して、

不滅の道を切り開き前進し続けることを約束し、今日までのご支援に対するお礼とさせていただきます。

※名簿説明―敬称省略

分類方法は、応募口数及び金額別とする。○数字は卒期、括弧は通信同。

追加寄付は、実績口数で分類し末尾括弧で累計口数を表示する。

例・九口寄付者が一口追加の場合
◆一口 一万円

〔〇〇県〕①鯉淵太郎（累計一〇口）
また、報告期間内で、二回以上追加の場合は、合計口数で分類、表示する。

間違い、不審の点は、必ずご連絡ください。調査のうえ修正いたします。

記念事業寄付応募者名簿

（平成七年五月～同年八月 五三三名）

- ◆一〇口 一〇万円 (六名)
 - 〔茨城県〕 ⑦ 岩持文彦 (累計二〇口)
 - 〔栃木県〕 ⑤ 川中子雄治
 - 〔神奈川県〕 ② 北村康祐 (累計二二口)
 - ⑦ 川上義雄 (累計一〇口)
- ◆七口 七万円 (二名)
 - 〔愛媛県〕 ⑦ 上甲修三 (累計一五口)
 - 〔広島県〕 ⑪ 門藤範雄 (累計八口)
 - 〔山口県〕 ② 梅下巖 (累計一〇口)
- ◆五口 五万円 (二名)
 - 〔千葉県〕 ⑬ 星野博正 (累計一〇口)
 - 〔北海道〕 ④ 佐藤存 (累計一〇口)
 - 〔茨城県〕 ③ 遠山操 (累計一〇口)
 - 〔群馬県〕 ⑧ 鈴木光雄 (累計一〇口)
 - 〔東京都〕 ⑫ 黒沢賢治 (累計一〇口)
 - ⑫ 松井隆

常任委員会報告

平成七年八月十九日(土)、創立五十周年記念事業実行委員会合同で開催、次の事項を審議、決定した。なお、次回は、十月七日(土)開催で合意し、大会に上程する議案を審議、決定する。

協議内容概略

一 学園創立五十周年記念事業

- (1) 別掲「鯉淵学園創立五十周年記念行事のご案内」に、同窓会大会日程を明記し、記念行事との一貫性を強調する。

「湯泉荘」「ふじぬま」「歌舞伎」に対し、受入れ交渉する。

研修館の利用(参考)

三 平成六・七年度補正予算

名簿複製、販売等に伴う支出及び収入の増加分についての補正。

四 会計事務処理規程及び顕彰規程の原案提示、概ね、合意が図られたが、最終案は、次回の会議で決定とする。

五 会報五十七号発行について

- (1) 発行日 十月一日
- (2) 原稿締切り 八月末日

六 名簿発行について

- (1) 発行月日 平成九年五月以降当該年度以内。
- (2) 収支計画 特別会計とする。

七 その他

鯉淵学園五十年史の編纂
同誌の編纂分科会会長である西村委員から、同窓会の責任による、同誌の引き取り部数の設定提案がありました。が、同窓会会員の購入見込数(注文販売数)については、事前に、必ず、購入予約申込書を徴し、印刷部数決定の



- | | | |
|-----------|----------|------------|
| ⑦ 松田 暄信 | ⑮ 尾坂 忠男 | ⑯ 山本 宏徳 |
| ⑳ 仲松 晃市 | (島根・一名) | ⑬ 近本 昌博 |
| (栃木・一名) | ㉙ 藤原 友征 | ⑭ 高見 康彦 |
| (4) 大橋 安森 | (兵庫・二四名) | ⑰ 池田 和美 |
| (埼玉・二名) | ② 正木 浩二 | ⑰ 眞淵 博行 |
| ㉚ 玉谷 なつ子 | ④ 広沢 和夫 | ⑰ 八幡 吉彦 |
| (六、〇〇〇円) | ⑦ 足立 優 | ㉛ 栗山 要 |
| ⑰ 布施 祥吾 | ⑩ 加藤 整 | (支部集合徴収納入分 |
| (千葉・一名) | ⑮ 近本 恭紀 | で、平成六年分であ |
| ㉜ 中川 美代子 | ⑮ 高田 修身 | る。納入金額一人 |
| (東京・二名) | ⑰ 出店 利彦 | 一、五〇〇円) |
| ⑦ 林田 公明 | ⑲ 甲谷 克己 | (岡山・一名) |
| ⑦ 山下 耕一 | ㉚ 田中 義治 | (3) 草苺 美知夫 |
| (新潟・三名) | ㉜ 藤本 敏雄 | (山口・一名) |
| ⑩ 志田 定夫 | ㉜ 西浦 英子 | ㉞ 伊藤 文江 |
| ⑦ 内藤 滉 | ㉜ 吉川 千鶴子 | (香川・二名) |
| ㉜ 佐藤 恒平 | ㉜ 今北 耕司 | ⑤ 仙波 岩己 |
| (長野・一名) | ㉜ 長尾 輝夫 | (八・九年度分) |
| ⑨ 上沢 徳雄 | ㉜ 大植 勉 | ② 竹内 克 |
| (岐阜・一名) | ㉜ 橋本 篤 | (大分・一名) |
| ㉜ 佐々木 教公 | ㉜ 山川 和也 | ④ 丹羽 新吉 |
| (静岡・三名) | | |
| ⑮ 池谷 智美 | | |
| (四・五年度分) | | |
| ⑮ 池谷 智美 | | |
| (六・七年度分) | | |
| ⑮ 鈴木 則男 | | |
| (三重・一名) | | |
| ⑮ 中村 祐次 | | |
| (滋賀・一名) | | |
| (5) 杉山 繁 | | |
| (和歌山・二名) | | |
| ㉜ 西岡 好己 | | |

根拠とすることでご留意し、確認しました。

※ このことは、(1)の(2)と同時に、記念事業実行委員会に申し入れ済である。

■会議出席者

(役職、氏名、卒期、所属の順)

会長 長 福丸 博房⑨ 埼玉
副会長 長 高橋 隆三⑨ 茨城
副会長兼常任委員長

吉川 昭雄⑪ 茨城
常任委員長茨城県支部長

岩持 文彦⑦ 茨城
常任委員長 稲川 正大⑬ 茨城

代理 梅崎 孝臣⑬
篠原 要一⑩ 栃木

関口 義明⑦ 群馬
常任委員長東京都支部長

白土 忠雄⑨ 東京
常任委員長 住吉 達男⑰ 東京

北村 康祐② 神奈川
常任委員長兼神奈川県支部長

西村 典夫④ 学園
砂田 良雄⑤ 学園

坪野 敏美⑦ 学園

支部・同期の動向

会報第五十六号報告以降の支部総会は、七月の福島県及び兵庫県、八月愛媛県の、二支部で開催されました。

会議概要として、◆開催年月日、◆会場又は開催地、◆代表者 ◆出席者又は出席人数、◆本部派遣役員員の順に記載します。
○数字は卒期、括弧内は通信卒期。

福島県支部総会

◆平成七年七月八日(土)～九日(日)
◆磐梯熱海温泉 ホテル金蘭荘
◆支部長 山本 学⑬
◆出席者 十四名

荒川 達雄④ 五十嵐竹男⑳
穴戸 篤⑦ 松本 栄⑳
斉藤 武雄⑦ 川口 正伸⑳
須田 鉄二⑩ 古川真智子㉑
菅原 祥⑫ 角田 初夫㉒
山本 学⑬ 佐藤 美季⑬
松尾 斎昭⑮ 五十嵐直樹⑳

愛媛県支部総会

◆平成七年八月五日(土)
◆支部長 岡 一郎⑩

◆派遣員 岩持 文彦⑦(事務局長)
◆会議内容 役員留任、四方部(会津、県北、県南、浜通)の連絡員を、それぞれ四名とし、組織強化を図った。

兵庫県支部総会

◆平成七年七月九日(日)
◆明石市 J A兵庫教育センター
◆支部長 足立 優⑦
◆出席者 十三名

河合 寅男② 柴垣 仁司⑳
正木 浩二② 田中 義治⑳
堀端 俊造③ 菅原 正則⑳
加藤 信二⑤ 福井 寛行⑳
足立 優⑦ 岸根 秀明⑳
加藤 整⑩ 芦田 靖司④
近本 恭弘⑮

派遣員

◆派遣員 岩持 文彦⑦(事務局長)
◆新支部長 加藤 信二⑤
◆会議内容 足立支部長転居辞任に伴う後任選出及び、「近畿のつどい」対応策。

【お知らせ】

「五期生会」の集い
卒業四十五周年記念
◆日時 平成七年十一月三日
十六時受付

◆場所 学園集合

(同窓会大会会場受付)
総会・懇談会
十七時より「湯泉荘」

◆内容その他に於いては、幹事より連絡します。

七期生会(第八回)

◆平成七年八月二十二日(火)～
二十三日(水)
◆栃木県塩谷郡藤原町大原一四〇〇
鬼怒川ホテル「ニュー岡部」
☎〇二八八―七七―二六一―

◆来賓 酒井 博先生ご夫妻
◆出席者 二十四名(記念写真参照)
体調不全者続出で、こじんまり集会となる。

酒井先生ご夫妻のご来臨で、盛り上がり、五年振りの交友と、五十周年祝賀ムード一色のうちに散会となる。
次回は、三年後、茨城で。

記念写真は、元気の証明、出席者の挨拶代わりです。

(七期生懇親会記念写真)



(写真説明)

前列左から、竹嶋、足立、齋藤、酒井先生ご夫妻、関口、林田、佐々木。
中段左から、増山、山下、鈴木、広原、小泉、松田、岩持、矢沢、藤原、村山、岸岡、下里。
後列左から、立見、寺尾、黒崎、本田、坪野、中村。

支部長異動

熊本県支部長 高木 重成⑩ 平成七年一月二十九日 総会
兵庫県 " 加藤 信二⑤ 平成七年七月九日 総会
なお、岡山県支部長 川上 良三②氏は、五月三十一日逝去、後任未定。

哀悼

新潟県支部	川上 義雄⑦	昭和五十五年五月二日
茨城県 "	平山 嘉夫⑤	平成七年二月
岩手県 "	小田中 博③	平成七年二月二十八日
長野県 "	鳥川 功⑤	平成七年五月
岡山県 "	川上 良三②	平成七年五月三十一日
群馬県 "	飯塚 正平①	平成七年六月十九日
京都府 "	杉原 精一③	平成七年八月四日



鯉淵学園同窓会

「近畿のつどい」

近畿交流集會実行委員会(委員長 早田 仁① 和歌山県支部長)は、六月二十四日の会議で、集會の名称を、正式に「鯉淵学園同窓会近畿のつどい」としたほか、次の事項を決定した。

- 一 日程 平成七年十一月十一日(土) 午後一時～翌十二日
- 二 会場 法華クラブ京都 ☎〇七五―三六一―二二五―
- 三 窓口(府県)
 - 滋賀県 北川元一郎② 事務局長
 - 京都府 竹村 敬子⑩ 事務局長
 - 大阪府 相川 信三⑦
 - 兵庫県 田中 義治② 事務局長
 - 奈良県 武田れい子②
 - 和歌山県 松浦 義人② 事務局長

神経難病ALSと共に



悪妻との たたかい

松本 茂 著

「悪妻とのたたかい」

闘病十二年の生きざま 出版

（購読推薦）

「二〇年ぶりに コンバインに乗る
ごうおーとうなりながら
稲刈りをする」

発病して一〇年 手も足も動かず
食べることも 話すこともできず
頭だけで 稲刈り
うれしくて うれしくて

心の中で ほんざい・・・」
一昨年、NHKTVで全国放送された、
「やったぜ とうーちゃん」の稲刈りで、
松本 茂君の全身から滲みでた感動であ
る。

同君は、鯉淵八期生、日本一の米づく
りを目指して、南国土佐を後に、秋田県
大潟村に入植した、近代農業経営者の一
人です。

だが、不運にも、昭和五十八年の初夏、
農作業中に転倒、筋萎縮性側索硬化症
（難病ALS）という不思議な病にとり
憑かれてしまいました。

苦難の始まりです。本書は、こうした
極限状態の中で、奥さんに支えられなが
ら、「生」への道を伐り開く同君の不屈
の記録であります。

八月二十六日、秋田市内で式百余名の
方が出席して、同君ご夫妻を激励し、出
版を記念する集いが開かれました。
鯉淵卒業生も、秋田県支部を中心に、

遠くは鹿児島、高知から十八名の方が参
加してくださいました。

発起人の一人として、心からお礼申し
上げます。

鯉淵精神の塊である同君は、「俺は、
農業経営 現職」と意気軒昂そのもの。

日本ALS協会会長を買って出て、全
国の同僚、家族を激励して回り、国や自
治体に働きかけるなど、まさに、超人的
活動の連続であります。

本書の代金も、ALS基金に寄付する
ということでした。

こうした同君の心は、本書の中に、
脈々として貫かれ、これから私たちの、
道しるべとなりましょう。ここに、信念
をもって購読を推奨しますとともに、松
本 茂君の活動に、絶大なるご支援をお
願い申し上げます。

茨城県古河市 岩持 文彦 七期

（同窓会事務局長）

四五版、三一八頁。一、八〇〇円

全国の主な書店で販売されており
ますが、見当たらない場合は、次に、
はがきか電話で申し込んでください。

〒一六二 東京都新宿区納戸町七

日本ALS協会

電話〇三三一二六七―六九四二

二、〇〇〇円（送料込み）